

[illegible]



はじめまして 新院長の川口です



豊田厚生病院 新院長 かわぐち 川口 おさむ 鎮

平成27年4月1日より病院長を拝命いたしました川口と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

平成20年に元城町にあった加茂病院が現在の地、浄水町に豊田厚生病院として新築移転し、その後は人員、組織の拡充に努めてきました。現在、感染症病床を含め606床を有し、医師159名（うち研修医27名）、看護師598名を含め、正職員数1,098名、臨時職員を含めると約1,400名を擁し、38の診療科が稼働しております。

豊田厚生病院は愛知県厚生農業協同組合連合会の8病院の一つであり、豊田市内の公的病院として、また西三河北部医療圏における地域がん診療連携拠点病院であり、救命救急センターを有する基幹病院として急性期を主体とした診療を行っています。当地域の地域中核災害医療センターとして免震構造を備え、有事の際にも医療を継続できるような体制を整えています。屋上にはヘリポートも装備し、ドクターヘリ、防災ヘリによる救急搬送が可能となっており、ドクターヘリによる救急患者搬送の受け入れ病院として、県下第2位の実績を残しております。

移転計画では敷地、建物面積を十分確保したつもりでしたが、移転より7年が経過し、外来患者数が伸びる中、昨年には通院治療センターの増床、精神科外来、産婦人科外来、内視鏡センターの拡充などの外来整備工事を終え、地域医療支援病院の取得に向けた下地作りを着々と進めています。また近年、職員数が大幅に増える中で、今まで以上に職員が働きやすい環境を整え、多くの人がともに働きたいと思っていただけるような病院をめざしたいと考えております。

団塊の世代が後期高齢者となる時代が到来し、今まで以上に高齢化が進み、特に当地域は高齢者層の急速な増加が予想されています。多くの高齢者を抱えた新たな時代に対応した組織づくりをめざし、今までにも増して地域住民の皆様に安心していただけるよう、多大なご支援を賜っている豊田市の市民病院的な役割を担いつつ、適切な医療が提供できるよう努力を重ねて参ります。

当院では「救急医療」「がん診療」「地域医療連携」を柱とし、地域の皆様に愛される病院になるため、病院の理念である「私たちは絶えず新しい医療の在り方を追求し優しさと温かさを大切にして地域の人たちと共に歩みます」を心に深く刻み、職員一同ともに診療に励むつもりです。これからも豊田厚生病院をよろしくお願い申し上げます。



副院長就任にあたって

加茂看護専門学校長兼豊田厚生病院副院長兼小児科代表部長
かじた みつ はる
梶田 光春



この度、副院長を拝任いたしました小児科の梶田光春です。また、片田前院長の後任として加茂看護専門学校長を兼任させていただくことになりました。

私は1984年に名古屋大学医学部卒業後、本院の前身である「加茂病院」の研修医となり、その後名古屋大学などでの勤務を経て、2000年秋から小児科部長として復帰いたしました。大学卒業後の31年間のうち約2/3を当院で勤務しており、大学在職中も月に1回は当直代務に来ていましたので、ほぼ「生え抜き」の職員と思っています。

この間に病院の規模はどんどん拡大して、病床数・職員数は大幅に増加し、浄水への新築移転及び「豊田厚生病院」への改称を経て、当地区の基幹病院として大きく発展して参りました。多くの医師・看護師などの病院スタッフの方々、患者様とご家族の方々と出会い、医師として人間として様々なことを学ばさせていただきました。

副院長、学校長就任にあたり、少しでも恩返しができればと思っています。大変微力ではありますが、当院のさらなる発展と未来の医療スタッフ育成のために尽力して参りたいと存じます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

栄養士さんの健康レシピ

豊田厚生病院 栄養科



緑色の瑞々しいアスパラガスは、さわやかなこの季節にぴったりの野菜です。今では一年中出回っていますが、一番おいしいのが、国産が出回るこれからの時期です。

アスパラガスに含まれるアスパラギン酸は、疲労物質である乳酸の分解を促進するため、疲労回復に効果があります。また、新陳代謝を促進し、美肌にも効果があります。今月の料理は、春らしい彩りのえびとアスパラガスのちらし寿司です。お弁当箱に詰めて、お花見や運動会など、春の行楽のお供にいかがでしょうか。



管理栄養士 河合 香織

えびとアスパラガスの彩りちらし寿司



旬のアスパラを使って疲労回復



エネルギー(1人分)
406Kcal

材料(2人分)

ご飯 …………… 320g
合わせ酢
(市販のすし酢を使ってもよい)
酢 …………… 大さじ2
砂糖 …………… 大さじ1
塩 …………… 小さじ1/3
えび …………… 3尾
卵 …………… 2個
A 砂糖 …………… 大さじ1
塩 …………… 小さじ1/4
アスパラガス …… 4本
いりごま …………… 小さじ1

作り方

- 炊いたご飯に合わせ酢といりごまを加えて切るように混ぜ、冷ましておく。
- アスパラガスは根元を切り、下半分は小口切りにする。上半分は3cmの斜め切りにする。塩を入れた熱湯でゆでておく。
- えびは殻と尾を除いて背わたを取り、塩を入れた熱湯でゆでる。ゆであがったら横に半分に切る。
- 卵はAの調味料を加え、炒り卵にする。
- ①のすし飯と小口切りにしたアスパラガスを混ぜ、器に盛る。
- ⑤の上に炒り卵、えび、アスパラガスを盛りつける。

ドクターからのアドバイス



皮膚癌について

皮膚科代表部長 鈴木 伸吾

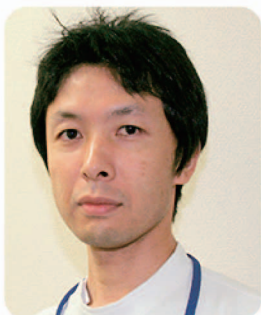
今までなかったほくろやシミが出てきた…。そのような経験をされたことはありませんか？そのようなものの中に皮膚癌が混じっている場合があります。

黒いできものとして気づかれる場合、脂漏性角化症^{しろう せいかくしやう}、基底細胞癌^{きでい さいぼうがん}、メラノーマ^{あくせい こくしよくしゆ}（悪性黒色腫）である事があります。脂漏性角化症は“老人性いぼ”ともよばれ、高齢者の顔などによくできる良性の腫瘍です。基底細胞癌は中高年以上の顔などに見られる黒色の腫瘍で、一見ほくろのようにも見えますが、よく見ると周囲が少し赤く、徐々に周囲に増大していく皮膚癌です。メラノーマ（悪性黒色腫）は“ほくろの癌”とも呼ばれている色素細胞の悪性化したもので、皮膚癌の中で悪性度の高い癌です。ほくろと思っていた物が大きくなったり、盛り上がったたり、形がいびつになったり、色むらがある場合その疑いがあります。また掌・足の裏にできることも多いので、そのような場所にできた場合は注意して下さい。初期病変はわかりにくい場合が多く、これらを診断する手段として「ダーモスコピー」という拡大鏡があります。おかしなほくろを見つけたら早めに皮膚科を受診して下さい。

湿疹だと思っていたら癌だった…。という場合もあります。これらには日光角化症、Bowen病、ページェット病などがあります。高齢者の湿疹の中に外用薬を塗ってもなかなか治らない場合に注意して下さい。

しこりができたりする場合もあります。粉瘤^{ふんりゅう}（アテローマ）や脂肪種のような良性な事が殆どですが、まれに悪性の腫瘍である事があります。

ただ、見た目だけではなかなか分からない場合もあります。その様な場合、皮膚の一部を採取し検査を行います。一般に皮膚腫瘍は数週間～数ヶ月経って形成されることが多いです。皮膚癌の場合、早期に見つかれば完治が可能です。分からないできものを見たら早めの受診をお勧めします。



パーキンソン病ってどんな病気？

神経内科外来部長 冨田 稔

パーキンソン病はだいたい千人に一人はかかる病気といわれ、日本全国に15～20万人いると推定されており、当院にも約100名の患者さんが通院されています。有名人では永六輔さんがパーキンソン病であることを公表されています。病名は1817年にこの病気を最初に報告した、イギリスのジェームズ・パーキンソンの名前に由来しています。

若い人には少なく、多くは40歳以降、特に50～60歳代で症状が出始めます。脳の神経細胞が減少し、そこでつくられるドパミンという神経の情報伝達物質の量が低下することで症状が出現すると考えられています。症状は、手足がふるえる、動作が遅い、手足が動かみにくい、筋肉や関節が固くこわばる、前かがみの姿勢、歩きが小刻みで転びやすい、無表情で声が小さい、といった運動の症状が代表的ですが、便秘などの自律神経の異常や、睡眠障害、気分が落ち込むなどの精神症状がみられることもあります。

診断は問診や身体診察が中心ですが、頭部MRIなどの画像の検査を組み合わせる総合的に行います。パーキンソン病とよく似た、診断が紛らわしい病気がいくつかあり、まとめてパーキンソン症候群と呼んでいますが、これらと区別することも大切です。

根本的に治すことはまだできませんが、薬によって症状を軽くすることができるようになってきています。パーキンソン病になると、すぐに寝たきりになると心配される方がいますが、日ごとに進むことはなく、何年もかけてゆっくりと進行する慢性の経過です。寿命は一般平均と変わらなくなっています。症状の程度や進行のはやさは人によって大きく異なり、日常生活に大きな支障なく過ごされている方も大勢います。担当医と相談しながら、症状に応じて薬を調節し、必要があればリハビリを行うこともあります。心当たりがある方は、どうぞお気軽に当院の神経内科を受診して下さい。



「第1回 JMECC 豊田厚生病院」を開催しました

平成27年2月22日(日)に「第1回JMECC豊田厚生病院」を開催いたしました。

「JMECC(ジェイメック)」とはJapanese Medical Emergency Care Courseの略で、日本内科学会で定められたプログラムによる救急蘇生講習会です。救急医療への社会的要請が高まる中、全ての内科医が心停止時のみならず、緊急を要する急病患者に対応できるスキルを身につけることを目的としています。

当院、救急科外来部長兼ICU部長である都築通孝医師を中心に、日頃救急医療に関わる医師、看護師、救急救命士が講師を担い、本番さながらの実習を含む充実した講習会となりました。一刻を争う救急医療の場面では、早急な判断・対応が求められ、より深い知識が必要となります。救命救急センターを有する当院としても、救急医療に携わる医師の育成は必須であります。地域の皆さま方に安心した救急医療を提供するためにも、今後も継続して開催していきたいと思っています。



参加自由の「医療安全フォーラム」に多数参加

当院2階講義室において、全職員を対象に「医療安全の取り組みから学ぶ」というテーマで、医療安全対策委員会・医療安全管理室主催の“医療安全フォーラム”を3日間(3/3～3/5)開催しました。

職員が時間帯にとらわれず自由に参加できるように9:00～19:00まで会場を開放しました。3日間で約800名の参加がありました。

各部署で体験した事例や医療安全対策委員会・医療安全管理室の活動報告などをポスターで発表し、病院全体で共有しました。アンケートの中で“興味があった”との評価が高かったのは、検査科の「実録! 針つき検体の恐怖」、2A病棟の「ちょっと待ってちょっと待って看護師さん流量確認どうやるの!」、栄養科の「異物混入なぜおこった」でした。また、各医療器具業者の方にもご協力いただき患者や医療従事者の安全を考えた商品の展示がありました。これからもより安全で安心な医療を提供できるように取り組んでいきます。



「オストミー友の会」開催しました

3月13日当院にて、「オストミー友の会」(人工肛門及び人工膀胱を造設している方“オストメイト”の患者会)を開催し、会員・家族合わせて67名の参加がありました。

会では、当院の林真千子看護係長(皮膚・排泄ケア認定看護師)による「災害時の準備・対策」についての講演を行いました。災害時のことについては皆さん関心が高く、熱心に聞いておられました。その後のグループワークでは、各グループにスタッフが1人ずつ加わり、会員同士の交流が行われました。

講演後のイベントは、ボランティアによるフォークソング演奏でした。明るい雰囲気での演奏と司会で、皆さんアンコールまで楽しく聴かれていました。

グループワークも活発に行われ、イベントも大好評でした。これからも多数の方に参加していただけるよう、より良い患者会を企画していきたいと思っています。

(文責:医療ソーシャルワーカー 夏目)



スタッフ紹介



うじ ひらのぶこ
氏平 伸子 (病理診断科 組織管理部長)

出身地 大阪府
血液型 B型
干支 申
趣味・特技 ペットショップめぐり
前勤務地 名古屋掖済会病院
専門分野 病理

2015年1月から、病理診断科でお世話になっています。大学までは近畿地方にいましたが、大学卒業後、名古屋に移り、愛知県での生活のほうが長くなりました。

このたびは、初めて豊田の町、病院で仕事をさせていただくことになりました。みなさんのお役にたてるよう、努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

エントランスギャラリーのご案内

開催日時	内 容
4月	写真展
5月	写真展
6月	和紙ちぎり絵展
7月	動物画展



豊田交通安全センター主催 後援：豊田厚生病院

交通安全講習会のご案内

【場所】豊田厚生病院1階 多目的室

開催時間 10:00～11:55

第16回	5月8日(金)	・交通脳トレ
第17回	6月9日(火)	・反射神経チェック
第18回	7月8日(水)	・交通安全DVD上映
		・自転車のルールを学ぼう!

※詳細につきましては、院内に掲示中のポスターをご覧ください。



産直朝市のご案内

地元農産物の朝市を月2回開催しています。
お立寄りの際はぜひご利用ください。

【開催】毎月第2木曜日、第4水曜日 10:00～12:00
※無くなり次第終了します。

【場所】1階正面出入口付近(ピロティ)にて

【販売者】JAあいち豊田「豊田生き活き部会」「高岡いいじゃん部会」



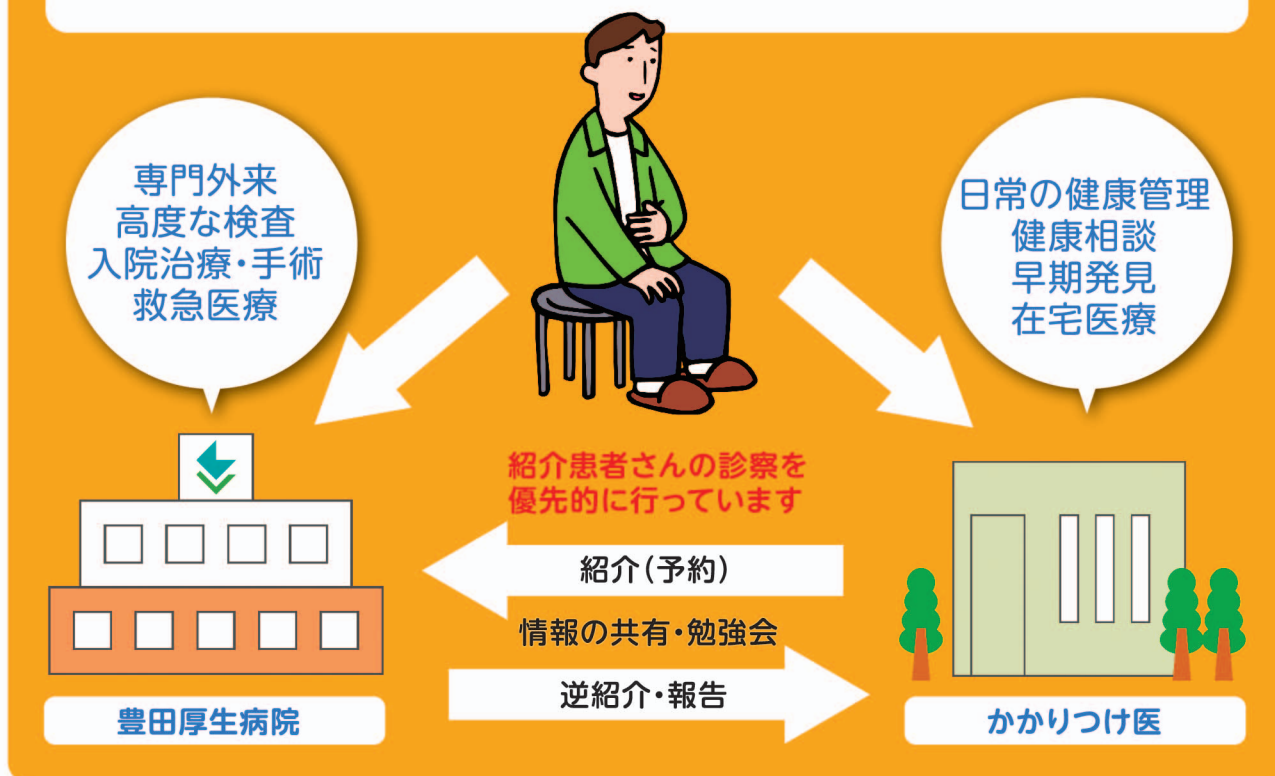
今後の予定	5月14日(木)	6月11日(木)	7月 9日(木)
4月22日(水)	5月27日(水)	6月24日(水)	7月22日(水)



「かかりつけ医」を持ちましょう

「かかりつけ医」と地域医療連携

普段は「かかりつけ医」、そこで必要な場合は「かかりつけ医」が当院の診療科や専門医を紹介します。また、症状が安定したら再び「かかりつけ医」の先生に診て頂きます。このように「かかりつけ医」と当院がそれぞれの役割を持ち、連携して診断治療にあたることを地域医療連携といいます。



受診の際は「かかりつけ医」からの紹介状をお持ちください



「かかりつけ医」からの紹介状をお持ちいただくと…

- 初診時の保険外併用療養費3,240円の負担が不要です
- 紹介状により治療経過がわかり診察がスムーズです

さらに「かかりつけ医」から事前予約していただくと…

- 初診でも予約が可能で、待ち時間が短くてすみます
- CTなどの検査がスムーズに受けられます



みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



院内イベント 市民講座のご案内

対…対象 定…定員 内…内容 講…講師 申…申込 受…受講料 持…持ち物 そ…その他

講座名	日時	場所	備考	お申し込み先
第54回 糖尿病バイキング教室	5月20日(水) 11:00～13:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 内科・澤井医師 受 材料費ほか	栄養指導室
第32回 肝臓病教室	6月17日(水) 13:00～15:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 内科・西村副院長ほか 受 無 料	栄養指導室
第19回 腎臓病教室	7月15日(水) 11:00～13:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 未定 受 材料費ほか	栄養指導室
第55回 糖尿病バイキング教室	9月16日(水) 11:00～13:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 内科・澤井医師 受 材料費ほか	栄養指導室
第7回 肥満教室	10月22日(木) 11:00～13:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 内科・加藤医師ほか 受 材料費	栄養指導室
第20回 腎臓病教室	11月18日(水) 11:00～13:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 未定 受 材料費ほか	栄養指導室
第56回 糖尿病バイキング教室	平成28年1月16日(水) 11:00～13:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 内科・澤井医師 受 材料費ほか	栄養指導室
第33回 肝臓病教室	平成28年1月20日(水) 13:00～15:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 内科・西村副院長ほか 受 無 料	栄養指導室
第4回 1型糖尿病教室	平成28年2月25日(木) 11:00～13:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 内科・加藤医師 受 材料費ほか	栄養指導室
第7回 摂食嚥下教室	平成28年3月23日(水) 11:00～13:00	2階講義室	対 一般の方どなたでも 申 事前に申込が必要 定 30名 講 内科・渡口医師 受 無 料	栄養指導室

がんサロン“煌(きらめき)”のご案内

※がんサロン“煌(きらめき)”は、毎月第3土曜日に開催しています。

【対象者】がん患者さん（がんの部位は問いません）及びそのご家族
 【日時】毎月第3土曜日 9:30～11:30
 【場所】1階多目的室 【内容】講演・自由交流
 【参加費】無 料 【お申込・お問合せ先】がん相談支援センター
 ●講演のみ先着30名（事前に申込が必要）
 ●10:30以降は出入り自由のため申込は不要です。

今後の予定

第55回	4月18日(土)	9:30～11:30
第56回	5月16日(土)	
第57回	6月20日(土)	
第58回	7月18日(土)	

助産師・看護師 臨時受付中 看護職員募集

■勤務条件：二交替勤務可能な方、パート、夜間専従

病院併設の保育所あり！ ●0歳～満3歳までの保育

●月～金曜日は夜間保育あり

●夜勤明けの保育も可

■説明会（平成27年）

	開催日	時間
第5回	4月18日(土)	午前10時～
第6回	5月2日(土)	
第7回	5月16日(土)	
第8回	6月6日(土)	
第9回	6月20日(土)	
第10回	7月18日(土)	
第11回	8月13日(木)	
第12回	8月27日(木)	
第13回	9月5日(土)	

■採用試験（新卒者のみ）

※有資格者は随時面談を行います

	開催日	時間
第1回	5月2日(土)	午前10時～
第2回	6月6日(土)	
第3回	7月4日(土)	
第4回	8月1日(土)	
第5回	8月18日(火)	
第6回	9月19日(土)	

お問い合わせ先

総務課または看護管理室
下記電話番号（代表）までお気軽にお電話ください。

愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院

〒470-0396 愛知県豊田市浄水町伊保原500-1
 TEL(0565)43-5000(代表) FAX(0565)43-5100(代表)
 URL:<http://toyota.jaaikosei.or.jp>
 E-mail:tk-hosp@toyota.jaaikosei.or.jp

【編集後記】

この3月末、加茂病院から引き続き昨年度までの9年間という長きにわたり当院を牽引してきた片田名誉院長が院長職を降りられ、川口新院長による新生豊田厚生病院が始動しました。今後も当院ならびに当広報誌をよろしくお願いいたします。(N)